

議会報告
2024年1月発行
第157号

日立市議会だより

日立市議会議員 助川 悟



デジタルを活用した次世代未来都市(スマートシティ) 共創プロジェクトに関する包括連携協定締結式



12月21日、(株)日立製作所との共創プロジェクトに関する協定を締結



11月11日から12日にかけて、池の川さくらアリーナで開催された日立市産業祭



11月25日開催ラジオ体操コンクールの事業所の部で優勝した、(株)日立製作所の「TEAM ごばりき」

写真で見る注目の日立市のNEWS

12月議会

道路、河川、本庁舎、池の川処理場等の災害復旧関連予算を計上

令和5年第4回定例議会は12月7日から21日まで15日間の日程で開催しました。上程された議案は、令和5年度一般・特別会計補正予算、条例改正、専決処分等30件で、各委員会での審議の結果、いずれも原案を可決または承認しました。主な議案、並びに議会の概要は下記のとおりです。

■予算の特徴

今回の一般・特別会計補正予算は、中小企業等災害復旧支援や住宅応急修理支援、また、本庁舎をはじめとする公共施設の復旧等、総額約39億4,000万円余を計上しました。主な事業は次のとおりです。

- ★中小企業等災害復旧支援対策 …… 8,150万円
茨城県と連携し、被災した市内中小企業の建物や機械設備等の修繕および購入費を支援
- ★住宅応急修理支援事業 …… 2,824万円
災害救助法に基づく住宅の応急修理制度の事業費を増額
- ★本庁舎災害復旧事業 …… 2億3,290万円
本庁舎の免震装置点検や、電気・機械・建築設備の復旧工事等を実施
- ★農業施設災害復旧事業 …… 3,519万円
法面崩壊や土砂流入、水路破損等、被害が生じた農業用施設の復旧
- ★道路災害復旧事業 …… 5億4,815万円
復旧工事累計220路線のうち、35路線の復旧工事等
- ★河川・排水路災害復旧事業… 2億3,975万円
復旧工事累計37河川のうち、16河川の復旧工事等
- ★保育園・調理場運営事業 …… 3,814万円
物価高騰に伴い、給食用の賄材料費を増額
- ★雇用安定対策事業費 …… 1,800万円
高卒者等に対する市内中小企業等への就職祝金を増額
- ★下水道事業資本的支出 …… 27億3,000万円
池の川処理場、各中継ポンプ場、その他の復旧工事等

災害復旧に向けた主な取組内容について

台風13号からの本格的な復旧に向けた基本的な方向性を示す「災害復旧基本計画」を令和6年3月中を目途に策定していきます。

〈復旧の基本方針と主な取組内容(内容一部抜粋)〉

- (1) 社会インフラの復旧
 - ◆河川・道路被害、土砂崩れ等への対応
 - ◆流域治水基本計画の策定
- (2) 公共施設の復旧
 - ◆本庁舎の浸水対策および電源設備の整備
 - ◆学校や公園、その他公共施設の被害への対応
- (3) 地域経済の復旧
 - ◆農地および農業用施設、林道の被害への対応
 - ◆被災中小企業への支援
- (4) 被災者の生活再建の支援
 - ◆住宅の応急修理や浸水被害防止等、住まいの再建
 - ◆市税・保険料等減免、市独自の災害支援金の支給等、被災者の生活支援
 - ◆仮置場設置や回収等、災害廃棄物の迅速な処理
- (5) 災害対応の検証
 - ◆地域防災計画やマニュアルの改定
 - ◆新たな情報管理システムや、河川監視カメラの整備
 - ◆防災教育の推進、市の初動体制の確立

市政へのご意見・ご要望、その他お困り事がございましたら、「助川悟」後援会までご連絡ください。

- 社内便の場合⇒ (日) 労組
- お電話の場合⇒ 0294(26)0183
- お手紙の場合⇒ 〒317-0073
日立市幸町2-13-6
- メールの場合⇒ satoru.sukegawa.vp@hitachi.com

SNSで活動の情報発信中!



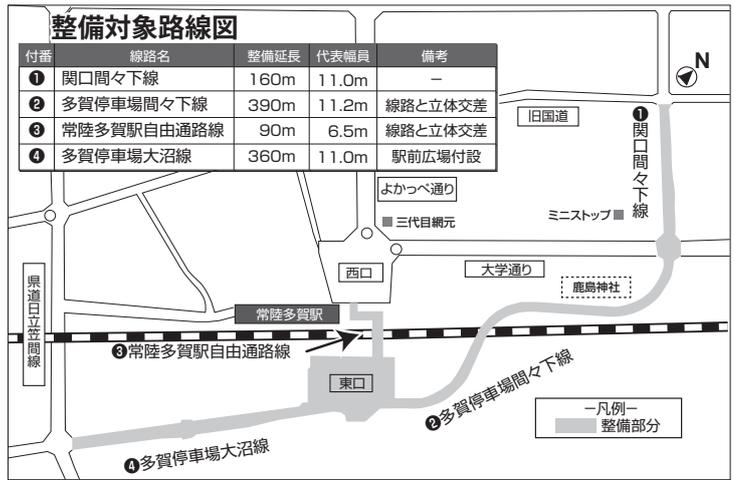
トピックス

本定例議会で審議された、日立市の主な取組をご紹介します。

常陸多賀駅周辺地区整備事業の進捗

設計方針のもと進めていく

常陸多賀駅周辺地区整備事業において、計画道路等の都市計画が進められています。東口広場を経由する南北アクセス道路については、道路冠水のおそれのない高架構造で計画し、橋上駅舎や、賑わい・滞留・待合空間として十分なスペースを持った東西自由通路など、魅力ある駅前空間とするため、鉄道事業者との設計協議を進めています。



かみね公園活性化事業

頂上芝生広場に交流拠点施設を整備

現在の頂上芝生広場



時代の変化に対応しながら、新たな魅力と賑わいの創出を図るため、かみね公園の頂上芝生広場に、公民連携手法を活用した交流拠点施設を整備

します。施設の内容としては、家族連れや若者が集える飲食店、夜景も楽しめる展望台や屋外デッキ、また、イベント開催などでもできる施設を想定しています。

令和6年4月に事業者の選定をおこない、同年7月以降の設計・建設を計画しています。



本格的な超高齢社会を見据え、健康寿命延伸のためのフレイル対策に取り組むとともに、健康づくりと交流ができる拠点施設として、(旧)萬春園の建物を活用し「(仮称)日立市地域リハビリテーションセンター」の整備を進めていきます。

令和7年度からの改修工事を計画しており、仲間と励まし合いながらリハビリに取り組み、「くつろぎ」や「ふれあい」の時間を楽しむことができる「新たなスタイル」の提供を目指します。

健康づくりと地域交流の拠点として
センター整備基本計画を策定
(仮称)日立市地域リハビリテーションセンター

本定例議会において、一般質問をおこないました。内容を一部抜粋して掲載いたします。

課題克服に向けた財政運営について

質問 物価高や原油高、デジタル化や脱炭素化への対応に加え、災害復旧対策のための予算措置等の課題をどう捉え、どのように克服していくのか、今後の財政運営について見解を伺う。

答弁 様々な課題を克服し、将来にわたって市民の安全・安心を確保していくためには、「安定的な財政基盤」の確立が、より一層重要になってくる。限りある行財政資源を有効に活用するとともに、国や県の補助制度の活用やふるさと寄附金制度の利用促進等、あらゆる手段を講じながら、各種財源の確保に努めていく。さらに、徹底した事業の選択と集中を図ることにより、中長期的な視点に立ちながら、政策効果の高い事業に対して重点的に投資をおこなうことで、健全で持続可能な財政運営との両立に取り組んでいく。

教職員の負担軽減と学校教育の質の向上について

質問 教職員の勤務時間外における電話での問い合わせ

せ対応等は、事務作業の効率低下や長時間労働の要因となっており、市内全校への留守番電話設置に加え、全校統一の運用方法の確立が必要ではないか。

答弁 本来、教職員が担うべき業務に充てる時間を確保することは、教育の質の向上につながるものであり、留守番電話の設置は有効な手段の一つと捉えている。全校への早急な設置を進めるとともに、統一的な運用に向けて、緊急時の対応等を盛り込んだガイドラインを作成し、適切な運用に努めていく。

質問 2学期制は、教職員の時間的ゆとりや子どもたちの豊かな学びと教育の質の向上につながるものと考えられることから、積極的に導入を検討するべきではないか。

答弁 確かな学力を育む教育を目指し、より相応しい学期の在り方を考えていく必要があり、導入については、先進事例を調査・研究し、学校・保護者・地域の皆様の意見を踏まえながら、方向性を検討していく。

